

令和3年度

# 西小だより

12月23日号

瑞穂市立西小学校

## 体験や活動を通して学ぶ西っ子たち

寒さが増してきた12月でも、いろいろな体験学習や活動を通して様々な学びを行ってきました。

1年生は、3月まで通っていた西保育センターの年長児を招いて、仲間で力を合わせて生活科の学習で作ったおもちゃで遊んでもらいました。優しい1年生のお兄さんお姉さんに安心して、4月になったら入学してくれることでしょう。

2年生では、前回のサツマイモに続いて、土にまみれながらたくさんのジャガイモを掘りました。毎朝、ペットボトルを片手に持って、水やりに行った成果が出ました。

3年生は12月6日に収穫したお米が精米・袋詰めされて学校に届いたので受け取りました。小川さんを代表にJAの方々に対して、代表の子が丁寧にお礼の言葉を伝えてお米を受け取りました。子どもたちで手分けして、全校に配りました。

5、6年生は、大縄跳びにがんばっています。特に6年生は全校に先駆けて練習を始め、これまでの記録を塗り替えようと汗を流して練習をしてきました。上級生の意地があるので負けられません。記録を競い合いながら、仲間と共に励まし合い苦しさを乗り越え、より強くたくましいすがたに成長しています。

その一方で高学年の歌声づくりにより一層力が入っていきました。12月9日には5、6年生の合唱交流を行いました。体育館で距離を取りながら、歌声を響かせました。卒業を意識し始めた6年生のすがたは、小学校を締めくくる姿にどんどん近づいています。そのあとを受け継いでいく5年生は、6年生のすがたから感じ学んだことがいくつもあったのではないのでしょうか。全校のリーダーのバトンが渡されるまで、それぞれがどんな素晴らしい姿に成長していくのか、とても楽しみです。



## 人形劇を見ました 4年生も出演しました

12月7日(火)に劇団ひとみ座による人形劇を見ました。この行事は、昨年度も行われましたが文化庁主催の文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)によるものです。申し込みをして西小学校は2年連続で開催してもらえることになりました。

これは、ただ公演を見るだけでなく、事前にワークショップが開かれ、演劇や踊りなどを通して表現活動に触れる体験学習が組み込まれています。今回は4年生の子どもたちが劇団員の方から振り付けやせりふの指導を受け、授業の中で人形作成や練習を事前に行って当日にもリハーサルをして出番を待ちました。

人形のやり取りに笑い声や拍手がおこり、午後からの公演(高学年の部)での4年生の出演も大成功でした。とても楽しいひと時が過ごせました。



## サッカーゴールを購入していただきました

昨年まで使用していた西小学校のサッカーゴールが、老朽化により使用できなくなりました。これまでに市に購入をお願いしていましたが、実現できませんでした。

そこで、西小PTA実行委員会に相談したところ、「西小パックン」の売り上げなど特別会計のお金で購入していただくことになりました。授業にて使用する際に2コートで使用する場合が多いため、ゴールを2組準備していただきました。体育の授業でサッカーの学習に入ったら、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

